

学校だより

やさしい子 たくましい子 考える子

6月号



黒門

発行日 令和5年 6月 1日

発行者 台東区立黒門小学校

校長 石田 隆

初夏の眩しい光を受けて 生き生きと

校長 石田 隆

夏まつり

区内各地で初夏の到来を告げるお祭りが催されています。神輿を担ぐ半纏姿の人々の心の高ぶりや、全身にみなぎる力が、見る側にも伝わります。神輿の上で金色の鳳凰が、踊るようにゆれ輝くさまも、4年ぶりの出番を喜ぶ人々の思いを表しているようです。

そのお仲間にも多くの教職員も加わらせていただきました。神輿を初めて担いだ先生は、肩に手を当てながら「痛〜い」と神輿の重さに驚いていました。「楽しかった!」「かっこよく担ぐにはどうしたらいいんだろう?」など、挑戦したからこそ新たな気付きをもてたり、地域に一層の愛着を感じたりすることができました。神輿を囲む観客だった自分が、半纏に身を包んで見られる側になったのは、貴重な経験でした。お世話になった関係の皆様へ感謝申し上げます。

*

「植松伸夫さんコンサート」開催

上野ミュージアムウィーク（国際博物館の日 記念事業）の催し物として、上野のれん会のご協力のもと、本校にて音楽家・植松伸夫さんの「こどもコンサート」が開催されました。植松さんは「ファイナルファンタジー」シリーズをはじめ数多くのゲーム音楽を手掛け、子供のWell-Being活動に取り組んでいる世界的音楽家です。

コンサートは、楽しかったり、あたたかな気持ちになったりする音楽と映像・読み聞かせの素敵な組み合わせで展開されました。「ブラボー!」と声かけしたり、一緒に歌ったり元気な手拍子をしたりと、子供たちの豊かな反応に奏者の皆様も笑顔溢れる一時となりました。

*

全校遠足「仲良く 協力して 最高の思い出を作りましょう!」

さわやかな天候のもと、代々木公園へ行ってきました。1年生の手を引きながら、「もう来年は、僕たちはここには来ないんだな。淋しいな」とつぶやく6年生もいました。

今年度も『なかよし班でのオリエンテーリング』では、協力して各ポイントでのお題をクリアしながら進みました。疲れて音を上げたり、班行動をとれなかったりする下級生をその気にさせながら班をリードした高学年もいました。後半はクラス遊びで広場をたっぴりと走り回る姿が随所に見られました。帰校後に「楽しかった。でも疲れた」という声が多かったです。スローガンを意識して過ごせた有意義な一日となりました。

*

6月からの学校生活を自分たちでも考えてみる

たとえば、休み時間に外でボール遊びに夢中な子もいれば、池のそばでおしゃべりをしている子もいる。室内でタブレットを使って好きな絵を描いている人がいて、それをニコニコ見ている人もいる。そのメンバーの組み合わせは日によって違う。一体感のよさも知りつつ、このようなバラバラ感も尊重される関係を自分たちでもつくっていきけるといいなと感じています。